文法

修飾語のはたらき 2

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

●修飾語がくわしくする言葉

右の文には、修飾語が三つあります。

大きな（修飾語1）鳥が（主語）、青い（修飾語2）空を（修飾語3）とぶ（述語）。

修飾語1の「大きな」は、主語の「鳥が」に係って、「鳥が」をくわしくしています。
修飾語2の「青い」は、修飾語3の「空を」に係って、「空を」をくわしくしています。
修飾語3の「空を」は、述語の「とぶ」に係って、「とぶ」をくわしくしています。
このように、修飾語は主語や述語だけでなく、別の修飾語に係ることもあります。

修飾語アが、言葉イをくわしくすることを「アがイに係る」というよ！

1 次の文の――線の修飾語がくわしくしている言葉に、～～～線を引きましょう。

① すずしい 風が、ふきました。

② ペンギンは、魚を 食べる。

③ うちの 犬は、広い 公園を さんぽします。

④ ぼくは、きのう 小学校の 校庭で 遊んだ。

【修飾語がくわしくしている言葉の見つけ方】
①の「すずしい」がくわしくしているのは、「風が」か、「ふきました」のどちらかです。
「すずしい」と続けて読んだときに、意味が分かる言葉を探しましょう。
すずしい 風が　↓意味が分かる
すずしい ふきました　↓意味が分からない
なので、「風が」をくわしくしていると分かります。

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① お父さんは、いそいで（どのように）駅に（どこに）行きました。

② 遠くから（どこから）かみなりの（何の）音が（主語）聞こえた。

③ 音楽の（何の）先生が（主語）、ピアノを（何を）しずかに（どのように）ひきます。

④ 小林商店（主語）は、学校の（何の）近くの（どこの）小さな（どんな）お店（述語）だ。

8
もんせいかい 問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル